

椋山女学園大学改革アクションプラン 2024 成果報告

椋山女学園大学では、本学の個性や特色を生かし、学生等の多様なニーズに質の高い教育で応えていくため、毎年「椋山女学園大学改革アクションプラン」を策定し、教育改革に取り組んでいます。

2024 年度は「椋山女学園大学中長期計画2020年4月～2030年3月」第Ⅱ期（2023年度～2026年度）の2年目として、実施計画のもと、学びの継続及びさらなる教育改革を推進いたしました。2024年度の主な取組の成果を以下に報告いたします。

1 教育内容の充実

トータルライフデザイン教育の更なる充実を目的として、全学共通科目「人間論」においてトータルライフデザイン教育に関する授業を導入するとともに、教養教育科目においてもカリキュラム改正を行い、2024年度から「領域7 トータルライフデザイン」として新たに開講しました。

教育の内部質保証の推進として、2024年度から学修成果可視化システム（Sugi-PORT）を導入し、学生自身が大学生活や自らの学びを客観的に振り返ることができる仕組みを整備しました。

総合大学としての特色を生かした学部横断型のプログラムである「学部横断型社会実践特別プログラム」を2025年度から実施できるよう、検討・準備を行いました。

2 学修支援

学修成果可視化システム（Sugi-PORT）で可視化された学修成果をもとに、学修・生活指導教員等と各学生が面談を実施しました。

外国語学部では、グローバルランゲージラウンジを改修し、学生が積極的に語学学習に取り組めるような環境を整備しました。また、看護学部では、多目的ラウンジを整備し、BYOD を活用した授業やイベントなどに利用しました。

3 学生生活

2024 年度から学生の主体的・自主的な活動を通じて、学生自身の成長とともに、地域社会の発展に貢献することを目的として「学生チャレンジ応援プロジェクト」を実施し、採択された活動に対して助成金を交付し、支援を行いました。

南海トラフ巨大地震など様々な危機的状況に対応するため、防火・防災規準や要項の見直しを行うとともに、2025 年度の実施に向け大学全体の防災訓練実施計画（案）や災害時の事業継続計画の策定の検討を行いました。

4 キャリア支援

キャリア育成センターでは、学科の専門以外の国家資格の講座説明会を実施しており、Instagram を活用した広報を行いました。また、障害のある学生を対象としたガイダンスや公務員2次試験対策講座など支援の充実を図り、多様化する就職環境や求めるニーズに対応できるよう、キャリア支援体制を整備しました。

5 学生確保

志願者動向を踏まえ、全学部で総合型選抜を行うとともに、ワークショップ・体験型や適性試験型など、入学者選抜方法を変更しました。オープンキャンパスの時期や回数を見直し、より魅力的かつ充実した内容にするよう検討し、実施しました。

6 社会連携

2024年4月に、女性が社会で自立して生きていくための知識・能力を修得し、女性の自立と人生のデザインを支援するための組織として、椙山女学園大学トータルライフデザインセンターを設置し、ライフデザインカレッジで講座を開講しました。名古屋市からの委託を受けて行う名古屋市地域子育て支援拠点事業「すぎばーく」を開設し、様々なイベントを実施しました。

7 マネジメント

多岐にわたる学長の業務の一部を権限委譲し、副学長が担当することで意思決定の迅速化、大学運営の効率化を目指すため、副学長に係る関連規程類を整備しました。

以上